

アンジェラ・タン Angela TAN



芸術を通じて障害者の学習と生活を支援する非営利団体、ART:DIS（アート・デイス）シンガポールのエグゼクティブ・ディレクター。ART:DIS は 3 つのアートセンターを運営し、定期的アートプログラムを通じて 600 人以上の障害者を支援しながら、キャパシティ・ビルディングやメンター制度といった障害のあるアーティストの専門性を高める育成プログラムも提供している。ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジで視覚芸術と美術史の共同学位を取得。コマーシャル・ギャラリー勤務を経て、シンガポールの国立アーツ・カウンシルで、シンガポール・アート・ウィークやパブリック・アート・トラストといった国家レベルのプロジェクトを主導するなど、コミュニティにおけるアートとの架け橋となる政策や助成プログラム、イベントの開発に 10 年以上携わってきた。

エディー・ジー Eddy ZEE



プロデューサー、俳優として幅広く活動。過去 20 年以上にわたる、様々なアートフェスティバル、ダンス、劇団の 200 を超えるプロデュース作品は広く知られる。2016 年、香港の新しいアートハブである大館（タイクン・センター・フォー・ヘリテージ・アンド・アーツ）の設立プロジェクトのメンバーとして、同施設で国内外のアーティストの作品を紹介するスポットライト・フェスティバル、タイクン・サーカス・プレイ、アジア・ダンス・フィルム・プラットフォームを立ち上げた。2022 年 11 月には、香港芸術祭と香港ジョッキークラブ慈善信託基金の共催によるインクルーシブ・アートのための新しい基盤となるプロジェクト、ノー・リミッツに参加し、コミュニティのための舞台芸術の重要性における自身のミッションとビジョンを広げるべく活動している。



杉山幸代 SUGIYAMA Yukiyo

専門はアートマネジメント、学習環境デザイン。文化庁在外研修制度にてロンドン大学ゴールドスミス・カレッジ修士課程修了、青山学院大学大学院社会情報学研究科修了（修了時にイノベーション論文賞）。渡英中の経験から、芸術文化と社会（暮らし）、文化資本、人の学びのプロセス、セクターを越えた協働による社会イノベーション等に関心を抱くようになる。2019年 公益財団法人東京都歴史文化財団に入職。東京文化会館にて社会包摂につながる事業「コンビリアル・プロジェクト」を牽引し、東京文化会館リラックス・パフォーマンスなどを制作・実施。2021～22年、アジア人初の RESEO 欧州オペラ・音楽・ダンス教育普及担当者ネットワーク運営委員。2023年4月より東京芸術劇場にて新規青少年向け事業を担当。東京芸術劇場 管理課管理係 事業推進担当係長。

コンビリアル・プロジェクト公式サイト https://www.t-bunka.jp/about/on_stage.html



柿塚拓真 KAKITSUKA Takuma

相愛大学音楽学部卒業後、社会保険庁福岡社会保険事務局を経て大阪センチュリー交響楽団（現日本センチュリー交響楽団）事務局に入局。ブリティッシュ・カウンシル英国派遣プログラムや国際交流基金アジア・フェローシップを通じて、芸術団体と地域コミュニティの関わり方を考究する。クラシック音楽を介した就労支援事業「The Work」やオーケストラと高齢者をつなぐ「お茶の間オーケストラ」などを手掛ける。現在、豊中市立文化芸術センター非常勤事業プロデューサー、堺アーツカウンシル PO。

公益財団法人神戸市民文化振興財団事業部演奏課（神戸市室内管弦楽団/神戸市混声合唱団）演奏担当課長。